

平成27年度進行管理・評価シート
長野市歴史的風致維持向上計画（平成25年4月11日認定）
（最終変更平成27年3月27日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)

1	歴史的風致の維持及び向上に向けた連携 並びに推進体制	1
---	-------------------------------	-------	---

②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)

1	長野市景観計画との連携	2
2	長野市屋外広告物条例との連携	3
3	長野市伝統環境保存条例との連携	4

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)

1	無形文化財支援事業	5
2	歴史的資源活用コーディネーター派遣事業	6
3	善光寺周辺地域道路美装化事業	7
4	善光寺周辺地域電線類地中化事業	8
5	善光寺経蔵保存修理事業	9
6	善光寺表参道地域交流拠点整備事業	10
7	戸隠古道現状調査事業	11
8	まちづくり協議会活動助成事業	12
9	景観重要建造物修理助成事業(戸隠地域)	13
10	弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業	14
11	善光寺本堂耐震補強事業	15
12	戸隠地区伝統的建造物群保存対策調査事業	16
13	戸隠茅場整備事業	17
14	歴史的風致形成建造物修理助成事業	18
15	松代地域道路美装化事業	19
16	伝統環境保存事業	20
17	旧横田家住宅保存整備事業	21
18	旧文武学校保存整備事業	22
19	松代町文化財保存活用推進事業	23
20	旧松代駅舎保存活用事業	24
21	松代城東側駐車場整備事業	25
22	北国街道松代道 周辺文化財等周遊道路整備事業	26
23	史跡大室古墳群保存整備事業	27
24	旧信濃川田駅保存活用事業	28
25	松代歴史文化の発信・誘客事業	29
26	県宝大英寺本堂保存修理事業	30
27	川田宿PR活用事業	31
28	史跡松代城跡保存整備事業	32
29	県宝長国寺開山堂保存修理事業	33
30	県宝林正寺本堂保存修理事業	34
31	「彫工北村喜代松」制作の 屋台等保存・公開活用事業	35

32 鬼無里地域の伝統的祭礼等PR事業	36
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存(文化財調査・指定、保存管理 (活用)計画等)について	37
2 文化財の保存整備(修理、修景、復元等)について	38
3 文化財の防災に関する取り組みについて	39
4 文化財の周辺環境の整備について	40
5 文化財の保存及び活用の普及、啓発について	41
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1 寺町商家がオープンします ほか	42
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 登録文化財件数の増加	44
2 「長野市歴史まちづくりシンポジウム ～ながの歴史まちめぐり 善光寺と真田氏～」の開催	45
□法定協議会等におけるコメントシート(様式4)	46

評価軸①-1
組織体制

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	

歴史的風致の維持及び向上に向けた連携並びに推進体制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------------------	--	---

①歴史的風致の維持及び向上を目的とした庁内全体の連携体制を構築するために、関係各課の担当者によって構成される「歴史まちづくり推進会議」を適宜開催し、情報共有や問題点の抽出等を行う。
 ②歴史まちづくり法第11条に基づき、有識者等で構成される「長野市歴史的風致維持向上協議会」を、計画策定後も引き続き設置し、本計画の推進・変更に関して、様々な提案・意見等を得ることとする。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

①計画事業の関係部局を対象に「歴史まちづくり推進会議」を2回開催した。会議において各事業の進捗状況の確認及び事業実施に向けて解消すべき課題を共有し、庁内全体の連携体制を強化することができた。
 ②「長野市歴史的風致維持向上協議会」を2回と「歴史的風致形成建造物候補物件等現地視察」を1回開催し、計画事業の進行管理・評価、歴史的風致形成建造物の指定及び計画変更案などについて協議し、計画内容、事業に対して幅広く意見をいただいた。

進捗状況 ※計画年次との対応

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
--	--------------------------

状況を示す写真や資料等

- ①歴史まちづくり推進会議(庁内会議)の開催
 第1回 平成27年12月1日(火)
 議題 (1) 計画の概要について
 (2) 計画事業と課題について
 (3) 計画の進行管理・進捗評価について
 (4) 今後の予定について
- 第2回 平成28年1月28日(木)
 議題 (1) 計画の進行管理・進捗評価について
 (2) 計画の変更について
 (3) 今後の予定について



第1回(H27.12.1)

- ②長野市歴史的風致維持向上協議会の開催
 第1回 平成27年8月21日(金)
 議題 (1) 平成27年度の計画事業について
 (2) 長野市歴史まちづくりシンポジウムの開催について
 (3) 歴史的風致形成建造物指定の候補について



第1回(H27.8.21)

平成27年11月10日(火)
 歴史的風致形成建造物候補物件等現地視察

- 第2回 平成28年2月23日(火)
 議題 (1) 計画の進行管理・進捗評価について
 (2) 計画の変更について
 (3) 歴史的風致形成建造物の指定について



歴史的風致形成建造物候補物件等現地視察
(H27.11.10)

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成27年度
	現在の状況	
長野市景観計画との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容	<p>〈重点区域〉</p> <p>○善光寺周辺 重点区域内において、歴史的風致の維持及び向上のために、景観計画と連携しながら、景観計画上の重点地区に設定するなど、地域の特性に応じたよりきめの細かい景観の誘導を検討していく。</p> <p>○戸隠 本計画において、戸隠五社や中社・宝光社の宿坊を中心とした独特の集落を含む一帯が重点区域に設定されたことから、今後は、この重点区域内を対象に、より詳細な景観の誘導を行うための検討を行っていく。</p> <p>○松代 重点区域内の特徴的なまちなみを活かすためにも、地域の特性に応じた景観形成基準の設定等を検討していく。</p>
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観計画担当部局と連携協議を4回実施した。歴まち計画と良好な景観形成に関する施策との連携における課題と方針、各地区での取り組み等を共有した。

平成19年に策定した「長野市景観計画」に基づき、対象となる規模の新築・増築・改築等について届出義務を課し、高さや彩色等について指導している。

重点区域内の景観計画に基づく行為の届出件数
 ○平成27年度実績:善光寺・戸隠地区 6件、松代・若穂川田地区 0件、鬼無里地区 0件 計6件

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	重点区域の歴史的特性を活かした景観への誘導に向けて、長野市景観計画、長野市屋外広告物条例及び長野市歴史的風致維持向上計画とすり合わせを行い、方針や内容について協議検討を進めていく。

状況を示す写真や資料等

- 景観計画担当部局と連携協議を実施
- 第1回 平成27年4月21日(火)
 協議内容 (1) 計画の概要について
 (2) 計画に記載されている課題と方針について
 (3) 今後の予定について
 - 第2回 平成27年5月27日(水)
 協議内容 (1) 計画に記載されている課題と方針について
 (2) 戸隠地区における関連計画について
 - 第3回 平成27年6月26日(金)
 協議内容 (1) 計画に記載されている課題と方針について
 (2) 善光寺周辺地区における関連計画について
 - 第4回 平成28年1月29日(金)
 協議内容 (1) 計画に記載されている課題と方針について



景観計画担当部局と連携協議

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
長野市屋外広告物条例との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

〈重点区域〉
 ○善光寺周辺
 長野市屋外広告物条例では、歴史的な景観を有する地区等で、よりきめ細やかな景観の規制誘導を図るために、特別地区制度を設けている。今後、重点区域内においては、景観計画と連携しながら、よりきめの細かい地区制度の導入についても検討し、歴史的風致の維持向上に取り組んでいく。
 ○戸隠
 広範囲にわたって上信越高原国立公園戸隠地域戸隠管理計画区に指定され、屋外広告物の掲出についても一定の規制が設けられているが、宝光社地区の一部には、国立公園による規制と屋外広告物条例による規制のどちらにもかかっていない部分があり、善光寺門前の規制とともに、よりきめの細かい規制地区の導入について検討していく。
 ○松代
 重点区域内については、善光寺周辺と同様に、景観計画と連携しながら、特別規制地区制度の導入についても検討し、歴史的風致の維持向上に取り組んでいく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

屋外広告物担当部局と連携協議を4回実施した。歴まち計画と良好な景観形成に関する施策との連携における課題と方針、各地区での取り組み等を共有した。
 平成18年改正施行の「長野市屋外広告物条例」に基づき、屋外広告物を設置する際に、設置地区の規制区分及び屋外広告物の表示面積に応じて届出義務を課し、指導している。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	重点区域における特別地区制度の導入に向けて、長野市景観計画、長野市屋外広告物条例及び長野市歴史的風致維持向上計画とすり合わせを行い、方針や内容について協議検討を進めていく。

状況を示す写真や資料等

- 屋外広告物担当部局と連携協議を実施
- 第1回 平成27年4月21日(火)
協議内容 (1) 計画の概要について
(2) 計画に記載されている課題と方針について
(3) 今後の予定について
 - 第2回 平成27年5月27日(水)
協議内容 (1) 計画に記載されている課題と方針について
(2) 戸隠地区における関連計画について
 - 第3回 平成27年12月22日(火)
協議内容 (1) 計画に記載されている課題と方針について
(2) 善光寺周辺地区における関連計画について
 - 第4回 平成28年1月29日(金)
協議内容 (1) 計画に記載されている課題と方針について



屋外広告物担当部局と連携協議

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	平成27年度
	現在の状況	
長野市伝統環境保存条例との連携	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容

松代城下町の歴史のかつ文化的な遺産としての伝統環境を保存し、次世代の市民に継承することを目的として、昭和58年(1983)3月に「長野市伝統環境保存条例」が制定されている。条例では、松代町四町(表柴町、代官町、馬場町、竹山町)を伝統環境保存地区として指定し、区域内の保存に関する保存計画を策定している。保存区域内で建築物(主屋、土蔵、門、塀など)、庭園その他の工作物の新築、増改築などを行う場合に、市へ届け出ることが必要であり、これにより、城下町の良好な景観形成を図っている。伝統環境保存地区の全域が本計画の重点区域内に含まれることから、引き続き条例に基づいて伝統環境の保存に努めていくとともに、都市計画や景観計画と連携しながら、周囲に広がる歴史的景観との調和についても検討し、さらなる歴史的風致の維持向上を図っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・届出への審査指導や伝統環境の保全に寄与する建築物・工作物等保全へ補助することで、城下町の良好な景観形成と保全に繋がっている。
 届出件数
 ○平成27年度実績:7件 補助制度 評価軸③-16参照
 ・補助制度を活用して歴史的まちなみに寄与する建物等を保全維持している所有者は、地元団体の松代地区中心市街地活性化協議会の「街なみ景観賞」として表彰されるなど、まちなみ保存に対する地域住民の意識向上にも役立っている。

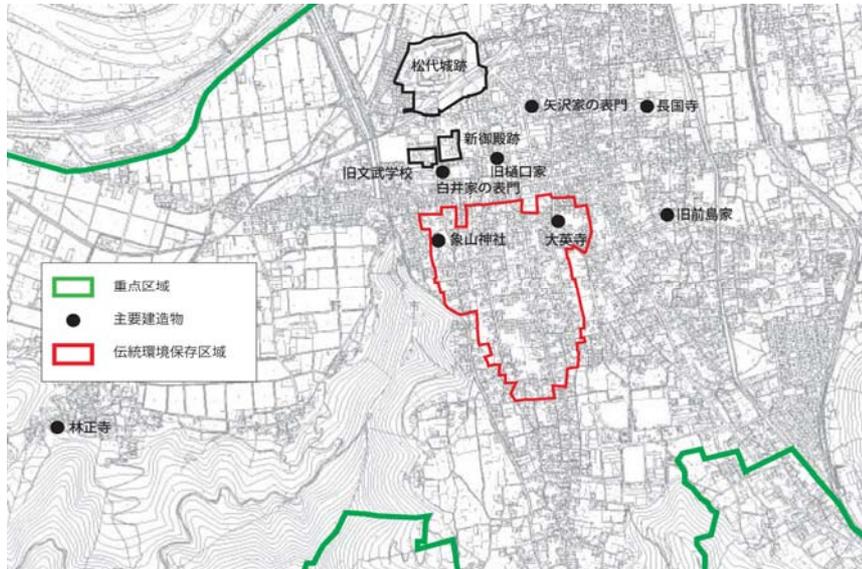
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

伝統環境保存区域:約29ha



評価軸③-1 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
無形文化財支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成34年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	無形文化財あるいは無形民俗文化財の指定等を受けている伝統的な祭礼を保存・継承するためには、無形文化財の保持者または保持団体が、地域の若者・子ども達などに伝統的な祭礼に触れる場を積極的に提供する必要があるため、文化財の記録作成、伝承者養成、その他保存・公開に必要な経費について、支援事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
無形文化財及び無形民俗文化財の保持者または保持団体に対し、活動経費の一部を助成することにより、伝承者の養成や地域の若者・子ども達などに伝統的な祭礼に触れる場を積極的に提供した。 ○平成27年度実績:無形文化財補助金 3件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財の技能保持者が高齢化しており、十分な伝承者の育成が間に合わない可能性があるため、文化財の映像資料作成などを積極的に進めていく必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
平成27年度 支援先の概要 (善光寺・戸隠地区)			
① 宣澄(せんちょう)踊り保存会	宣澄社および宣澄生誕地での宣澄踊り奉納を実施した。		
			
平成27年8月16日 踊り奉納の様子			
(松代・若穂川田地区)	地元小学生を対象とする育成活動等が行われ、保存継承を図ることが出来た。		
① 箏曲(そうきょく)八橋流保存会			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>平成27年5月17日演奏会の様子 長野市民新聞 H27.5.19記事</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>松代文化ホールでの演奏会の様子</p> </div> </div>			
② 大門踊(おおもんおどり)保存会	地元小学生を対象とする育成活動(年4回)、一般公開(年10回)を実施した。		
			
松代城前における踊り披露の様子			

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況

歴史的資源活用コーディネーター派遣事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------------	---

事業期間 平成26年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 住民主体のまちづくりを支援するため、歴史的町並みを活かした良好な町並み形成を目指す住民組織等に対して、外部の専門家や有識者を派遣する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

戸隠伝統的建造物群保存対策調査の成果について地区住民へ報告するにあたり、専門家(調査受託者)を派遣した。その結果、戸隠中社・宝光社地区内の建造物の特性等について地元住民の理解が進み、戸隠伝統的建造物群保存地区における保存計画(案)に対する理解が深まった。
 ○平成27年度実績:コーディネーター派遣 1件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



地区住民への調査成果報告の様子(戸隠伝統的建造物群保存地区に関する地元説明会(H28.1.13)にて)

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	

善光寺周辺地域道路美化事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------	--	---

事業期間 平成15年度～平成27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 善光寺門前の良好な景観形成を推進するため、仲見世及び宿坊群で構成されるエリアの次の路線について、周囲の景観に調和した舗装整備を行う。
 釈迦堂通り、法然通り、仁王門通り、阿闍梨池通り

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

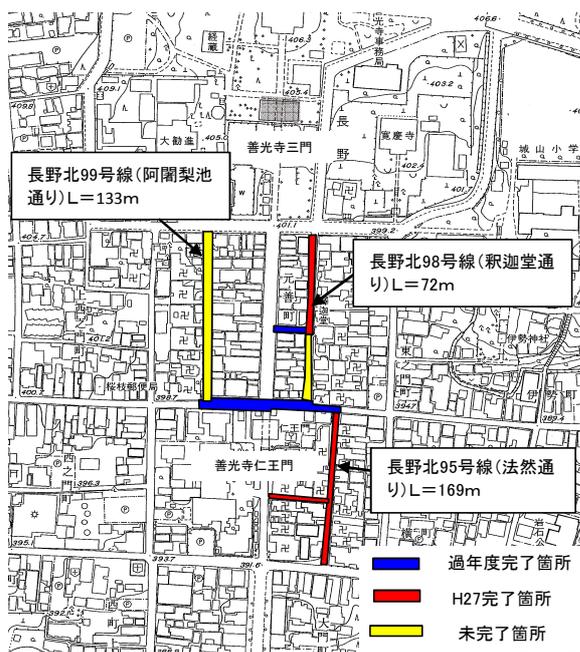
善光寺周辺道路の美化工(石畳舗装)を実施し、良好な景観形成が図られたものの、平成23～24年度工事におけるスケジュールの遅れ(施工時の迂回路確保に不測の日数を要した)が取り戻せず、計画路線の一部が実施できなかった。
 ○平成27年度実績:長野北95・94号線(法然通り・羅漢小路)L=169m、長野北98号線(釈迦堂通り)L=72m
 ※道路美化化総延長(計画期間累計) 実施済み371m/計画延長562m(進捗率66%)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成28年度に長野北99号線(阿闍梨池通り)の道路美化化を実施し、引き続き良好な景観形成を推進していく。平成29年度以降は県立信濃美術館との回遊性向上を図るため、事業エリアを拡大し平成32年度まで実施する。
--	---

状況を示す写真や資料等

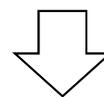
道路美化化位置図



法然通り道路美化化の状況



整備前



整備後

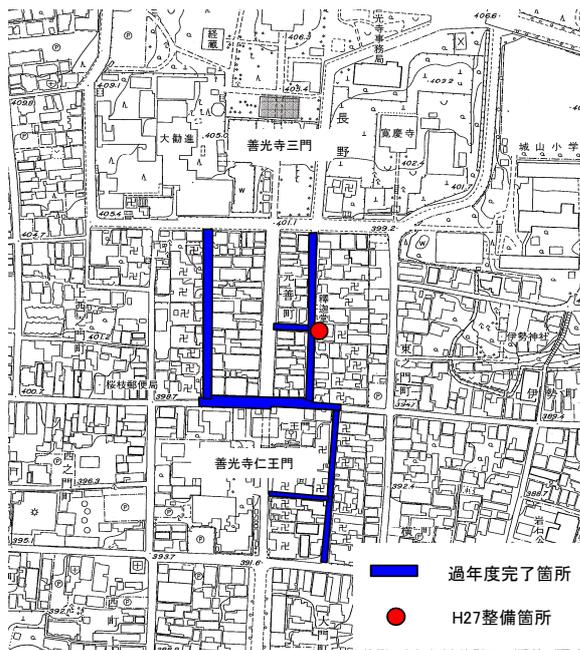
評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度 現在の状況
善光寺周辺地域電線類地中化事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成17年度～平成27年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	善光寺門前の良好な景観形成を推進するため、仲見世及び宿坊群で構成されるエリアの次の路線について、電線類を地中化し、道路からの眺望景観の向上を図る。 釈迦堂通り、法然通り、仁王門通り、阿闍梨池通り		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
街路灯への電源接続を実施し電線類地中化を完了した。これにより善光寺門前における道路からの眺望景観が向上した。(引き込み設備未施工1件有) ○平成27年度実績:街路灯(1本)の電源接続工事を実施 ※電線類地中化総延長(計画期間累計) 実施済み540m/計画延長540m(進捗率100%)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成29年度以降は善光寺三門東側の良好な景観形成を図るため、事業エリアを拡大し平成32年度まで実施する。		

状況を示す写真や資料等

電線類地中化位置図



街路灯への電源接続状況



街路灯(電源接続前)



街路灯電源接続の様子

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
善光寺経蔵保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成24年度～平成28年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 重要文化財善光寺経蔵は、宝暦9年(1759)の建立以降、屋根葺替及び部分修理以外の全面的な保存修理を実施していないため、屋根の劣化とともに建物基部の基壇や石敷の変形と不陸等が顕著な状況となっている。耐震性能並びに耐震上の課題を把握した上で、全面的な構造補強及び保存修理工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

善光寺周辺における歴史的景観の保全を図るため、善光寺経蔵の保存修理工事に必要な費用の一部を助成した。
 ○平成27年度実績
 平成26年度より継続実施している揚屋工事・基礎工事・地盤補強工事が完了
 屋根及び小屋組みの解体工事を実施

進捗状況 ※計画年次との対応

<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述) 基礎工事及び地盤補強工事に伴う基壇の解体において、往時の版築・石積等の技法が確認され、調査及び保存修理に時間を要したため、事業期間を平成29年度まで延長する方針
--	--

状況を示す写真や資料等



善光寺経蔵 基壇修理工事



善光寺経蔵 仮設工事

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
善光寺表参道地域交流拠点整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成26年度～平成32年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 善光寺表参道に面し、弥栄神社の御祭礼屋台巡行のルートでもあるため、地元住民や来訪者のための地域交流拠点として、緑豊かな公園や表参道の歴史を伝える施設等を整備する。また、観光客用駐車場不足の状況を踏まえ、観光バスの駐車できる駐車場の設置についても検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

民有地である事業予定地の用地確保に向けて、地権者との交渉を実施し、地元住民や来訪者の地域交流拠点化の調整を図った。

○平成27年度実績:用地交渉回数5回(5/1、7/1、8/28、9/15、12/14)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



事業予定地の現況①



事業予定地の現況②

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
戸隠古道現状調査事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 善光寺と戸隠を結ぶ信仰の道である戸隠古道について、その歴史や文化の普及・啓発を図り、より歩きやすい道として整備するため、戸隠古道の現況調査を行う。調査結果を踏まえて、部分的な歩道整備や歩行者案内板等の設置を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

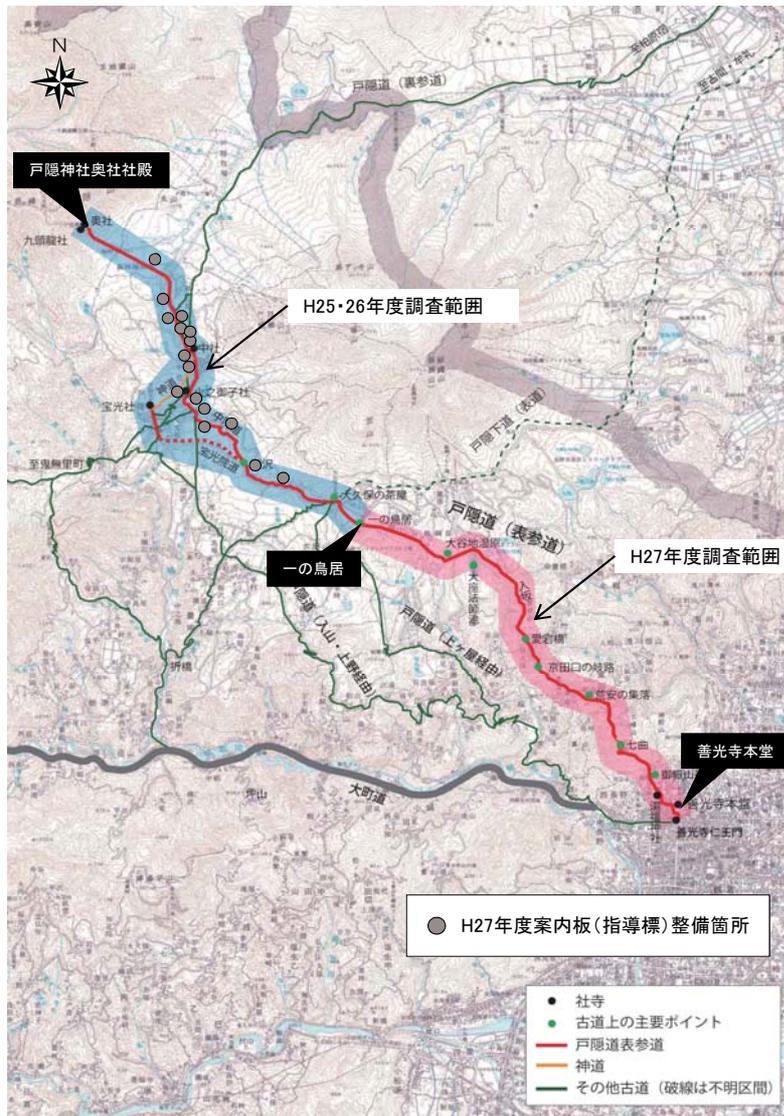
戸隠古道のうち、善光寺から一の鳥居までの間にある道標、案内板の位置、種類等の調査を実施した。また、長野市と(一社)戸隠観光協会により、破損しているものや外国語表記に対応していない案内板(指導標)16基の整備(新設・交換)を実施し、整備前に比べより歩きやすい道となった。
※事業完了

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

日常的な管理については継続した上で、歩道整備の必要性等を関係機関と調整する。

状況を示す写真や資料等



道標



整備前



整備後

案内板

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況

まちづくり協議会活動助成事業	<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------------	---

事業期間 平成25年度～平成27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 地域の歴史や文化を活かした良好なまちなみ形成を行うために組織された協議会に対して、活動助成を行う。
 団体名: 戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会に対し活動費の助成を実施した。これにより、地区住民を対象とした先進地視察や勉強会、意見交換会、シンポジウム等の協議会活動が活発に行われ、地区住民における良好なまちなみ形成に関する理解が深まった。
 また、協議会の活動内容等を掲載した「広報まちづくり」を3回、これまでの活動で得たまちづくりの構想を掲載した「戸隠未来地図」を発行・配布し、活動に対する地区住民の関心が高まった。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会の主な活動

■平成27年度

- 6月 まちづくり協議会総会、まちづくり勉強会
- 6月 先進地視察
 富山県高岡市、南砺市、石川県加賀市
- 10月 まちづくり意見交換会
- 11月 戸隠スキー場中社ゲレンデ茅刈り
- 12月 まちづくりシンポジウム

広報まちづくり 3回発行・配布
 戸隠未来地図 発行・配布
 役員会を月に1回程度実施



広報まちづくり 第3号



戸隠未来地図



協議会総会・勉強会(H27.6.2:参加者25名)



まちづくり意見交換会(H27.10.4:参加者36名)



先進地視察(H27.6.11.12:参加者15名)



まちづくりシンポジウム(H27.12.13:参加者40名)

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	

景観重要建造物修理助成事業(戸隠地域)	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
---------------------	---

事業期間 平成26年度～平成30年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 景観重要建造物に指定された宿坊極意(中社)と越志旅館(宝光社)について、建造物の外観の修繕及び外観の修繕に伴う構造部の修繕に要する経費の一部について助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

宿坊極意及び越志旅館の茅葺屋根の部分修理費用の一部を助成し、戸隠地区における歴史的景観の保全を図った。また、同建物の平成28年度の修理保存に向けて、現状変更申請し許可を得た。
 ○平成27年度実績:景観重要建造物修理助成 実績2件/当初計画2件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

宿坊極意(中社)



修理前



修理後

越志旅館(宝光社)



修理前



修理後

評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成27年度 現在の状況
弥栄神社の御祭礼屋台巡行支援事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成25年度～平成27年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	弥栄神社の御祭礼で曳き回される屋台の巡行を支援するため、各町で保管している屋台や祭礼用具の組立及び解体、補修等に対して補助金を交付する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
祇園祭における屋台巡行の毎年実施が復活し、今年度で4年目を迎えた。巡行屋台を一定数確保し祭礼の定着と発展を図るため、屋台の組立て及び解体等の費用の一部を助成した。 ○平成27年度実績 祭礼屋台事業補助金:8件(屋台6台の組立て及び解体費用の一部を助成し、このうち2台の屋台修理費用等の一部を助成)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	今後も引き続き祭礼の定着と発展を図るため、事業期間を平成34年度まで延長する方針		

状況を示す写真や資料等

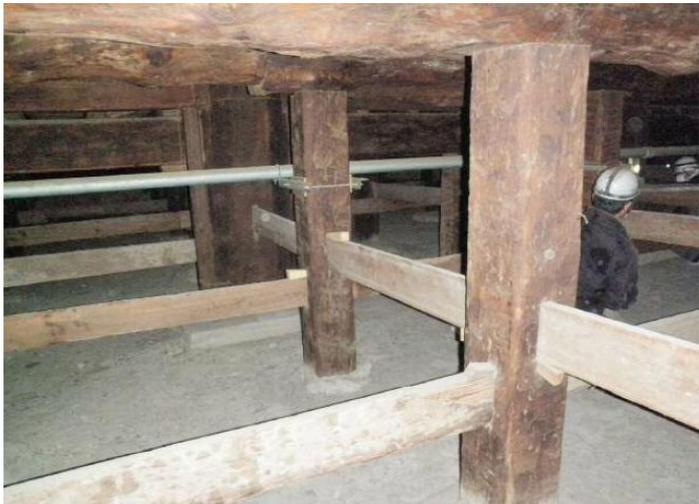


善光寺山門での答礼、踊りの披露



横沢町の笠鉾の展示

置き屋台の展示

評価軸③-11 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
善光寺本堂耐震補強事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～平成28年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	国宝善光寺本堂の耐震診断に基づき、参拝者に対する安全確保を目的とした、天井部分の落下防止対策等の補強工事を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地域の象徴的な歴史的建造物である善光寺本堂の保全を図るため、所有者が善光寺本堂の耐震補強工事を実施した。 ○平成27年度実績 小屋組みの木部接合部の確認とクサビ締め直しを実施 天井板の落下防止について、専門業者による現況調査及び緩んでいる釘の打ち直しを実施			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	専門家による定期的な現地調査を行い、現況の把握に努めると共に、適切な補強工事内容を検討し、平成28年度に実施する方針		
状況を示す写真や資料等			
			
善光寺本堂 小屋裏クサビ締め直し			
			
善光寺本堂 床下クサビ締め直し			

評価軸③-12 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
戸隠地区伝統的建造物群保存対策調査事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成26年度～平成28年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金		
計画に記載している内容	戸隠中社・宝光社地区の伝統的建造物群保存地区の指定に向けて、地域の伝統的な宿坊建築を中心に保存対策調査を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
中社・宝光社地区の工作物(石垣、石造物)及び環境物件(水路)の分布調査を実施するとともに、神社建築の建物調査(5件)を実施し、平成26年度調査成果とあわせて保存対策調査報告書を作成した。これにより戸隠中社・宝光社地区における歴史的町並みの特性を把握した。 ※事業完了			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	保存対策調査は平成27年度で終了するが、調査成果を基に伝統的建造物群保存地区として保存を図っていくための保存計画の策定に取り組む必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
			
<p>工作物・環境物件調査の様子</p>			
			
<p>神社建築の建物調査の様子</p>			

評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
戸隠茅場整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成34年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 戸隠中社・宝光社地区の歴史的町並みを構成する茅葺き屋根の建物を、今後も適切に維持保全していくため、中社地区内にある戸隠スキー場中社ゲレンデを茅場として整備する。なお、このゲレンデの一面には、すでに茅材に適した大茅が自生していることから、毎年、定期的に茅刈を行うことにより、良質な茅場として整備できることが十分に見込める。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

11月4日、5日の二日間、戸隠スキー場中社ゲレンデにおいて、戸隠中社・宝光社地区まちづくり協議会により茅刈りを行った。
延べ参加者:55人

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない 安定した人手の確保及び茅刈り技術の継承、また、茅の保管場所及び循環体制の検討が必要である。

状況を示す写真や資料等



茅刈りの様子

戸隠スキー場中社ゲレンデ茅刈り
 H27.11.4:参加者28人
 H27.11.5:参加者27人



茅刈りの様子



茅刈りの様子

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
歴史的風致形成建造物修理助成事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成34年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 戸隠の歴史的風致を形成する重要な歴史的建造物のうち、主要な通りに面し、かつ、現在も茅葺屋根を維持し続けている建造物について、歴史的風致形成建造物に指定し、建造物の修理を行う場合に経費の一部について補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

武井旅館(宝光社)の茅葺屋根の部分修理及び横倉旅館(中社)の鉄板葺屋根の部分修理費用の一部を助成し、戸隠地区における歴史的景観の保全を図った。
 ○平成27年度実績:歴史的風致形成建造物修理助成 実績2件/当初計画2件

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

武井旅館(宝光社)



修理前



修理後

横倉旅館(中社)



修理前



修理後

評価軸③-15
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
松代地域道路美装化事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成16年度～平成27年度

支援事業名 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 旧松代藩の城下町である松代の中心市街地は、松代城跡、新御殿跡、旧文武学校、旧樋口家住宅など、数多くの文化財が集積するとともに、善光寺御開帳における回向柱の奉納や天王祭における神輿巡行の舞台でもある。本事業では、城下町にふさわしい歴史的景観とするために、周辺の歴史的建造物に調和した歩車道の美装化を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧松代城下町エリアの道路美装化工事(石畳風舗装)を実施し、良好な景観形成が図られたものの、平成23年度工事におけるスケジュールの遅れ(工事着手後の湧水等による軟弱地盤の対策に不測の時間を要した)が取り戻せず、計画路線の一部が実施できなかった。

○平成27年度実績:松代西18号線(L=120m)

※道路美装化工事総延長(計画期間累計) 実施済み411.6m/計画延長741.6m(進捗率55.5%)

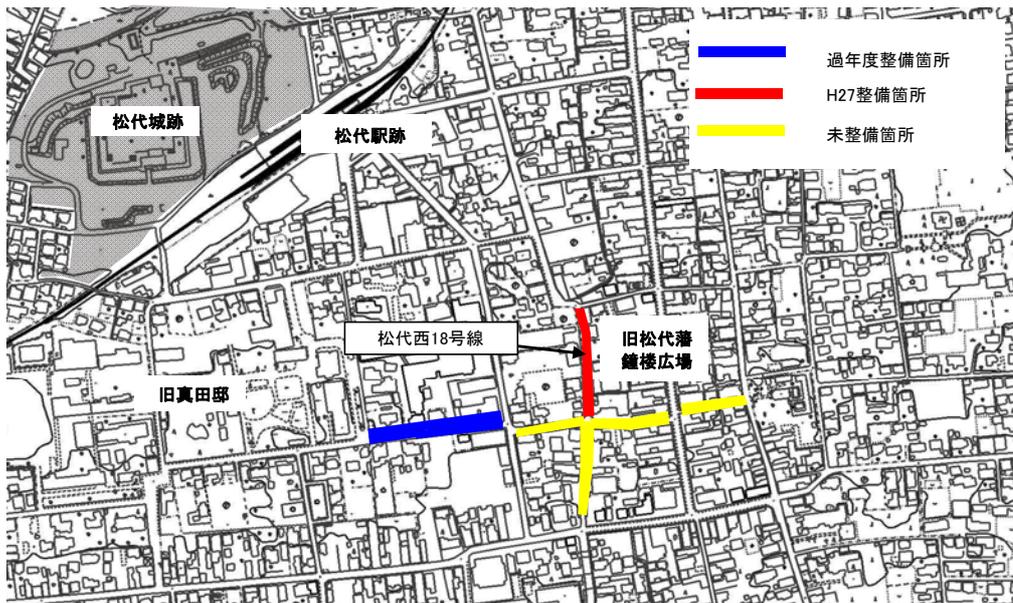
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

今後も計画路線の道路美装化完了に向けて取り組んでいく。平成29年度以降は、史跡松代城跡第2期整備の実施に伴い城跡の周辺環境を整備するため、事業エリアを拡大し平成32年度まで実施する。

状況を示す写真や資料等

道路美装化位置図



松代西18号線の状況



整備前



整備後

評価軸③-16 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
伝統環境保存事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	昭和59年度～		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	江戸時代の良好な武家屋敷地としての地割りや建物が残るとともに、松代特有の水路である庭園や泉水がとりわけ多く残っている、表柴町、代官町、馬場町、竹山町の四町の伝統環境を保存し、後世に受け継ぐため、伝統環境保存区域内で行われる建造物や庭園等の修理・修景に対して指導・助成等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
江戸時代の「泉水路」による連続する一群の庭園が良好に残され、景観形成に寄与している国登録有形文化財(名勝地)の泉水路改修及び主屋・門の塗装工事費用の一部を助成した。 修理にあたっては長野市伝統環境保存審議会の助言・指導を受け、実施した。 ○平成27年度実績:修理・修景助成 2件/当初計画2件			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	所有者の高齢化や所有者の代替わりによる生活スタイルの変化、相続時の土地分割などを主な要因として、歴史的建造物及び庭園群が年々減少しているため、地域と一体となって保存に取り組む必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
			
審議委員による現地視察(宮澤宅 庭園)		審議委員による現地視察(長谷川宅 表門)	
			
審議委員による現地視察後の審議			

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
旧横田家住宅保存整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～28年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 江戸時代の中級武家屋敷である旧横田家住宅(主屋、表門、隠居屋、土蔵2棟)は、前回の解体修理工事から20年以上経過し、茅葺屋根や土壁、木部等に劣化が生じており、保存修理が必要なため、その前段として耐震診断を行い整備方針を決定する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧松代城下町における歴史的景観の保全を図るため、地域を代表する文化財の一つである旧横田家の耐震補強を目的とした各種調査を実施した。

○平成27年度実績

現地調査(目視調査、実測調査)、地盤調査(ハンドオーガー試験、常時微動測定)、構造診断図等の作成

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	構造診断図等により文化庁文化財部「文化財(建造物)耐震診断指針」に基づく耐震診断を行い、構造補強案を策定し整備方針を決定する。

状況を示す写真や資料等



旧横田家住宅(表門)



旧横田家住宅(主屋)



旧横田家住宅(隠居屋)



旧横田家住宅(土蔵)

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
旧文武学校保存整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～平成31年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容
 松代藩の藩校として、安政2年(1855)に開校した史跡旧文武学校は、松代城下町の歴史を伝える重要拠点であるとともに、善光寺御開帳では、回向柱が安置される場所でもある。経年による老朽化が著しいため、現況調査を入念に行った上で保存修理を適切に進めるとともに、生涯学習や観光の拠点として積極的な利活用を促進するための環境整備を行なう。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

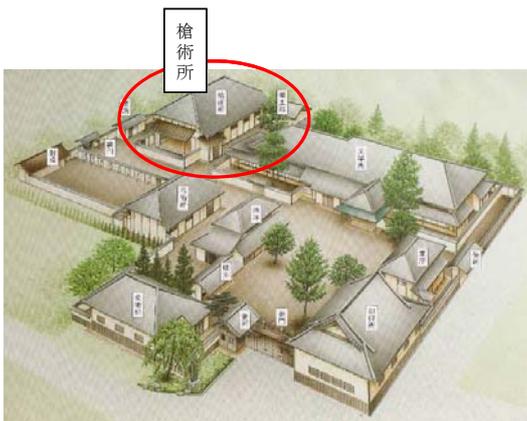
旧松代城下町における歴史的景観の保全を図るため、槍術所の保存修理を実施し建造物の価値を高めた。また、弓術所外残りの建造物について、耐震診断及び実施設計を実施した。

○平成27年度実績
 耐震改修: 槍術所
 耐震診断及び実施設計: 弓術所、柔術所、剣術所、東所、西所等

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



文武学校 配置図



槍術所 工事外観



槍術所 工事状況

評価軸③-19

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
松代町文化財保存活用推進事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 長野市内の中で文化財施設が特に多く集積する松代地区において、文化財施設を活用したまちづくりを促進するため、文化財ボランティアの活動や市民ワークショップの開催等を推進する。また、松代地区における文化財施設の中核施設である真田宝物館が、近年、施設の老朽化に加え、展示施設の調湿機能の不備、収蔵庫不足等の諸問題が生じているため、真田宝物館の設置場所も含めた、松代地区全体の文化財を活用するための調査研究を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

善光寺御開帳や平成28年NHK大河ドラマの効果により観光客数が増加しており、文化財ボランティアの活動や案内人数も増加している。

真田宝物館については、移転整備を将来構想としているが着手時期が未定であるため、移転後も利用可能な音響・照明設備の改修、エアタイトケースの購入など、現在の展示環境の改善を進めた。

進捗状況 ※計画年次との対応

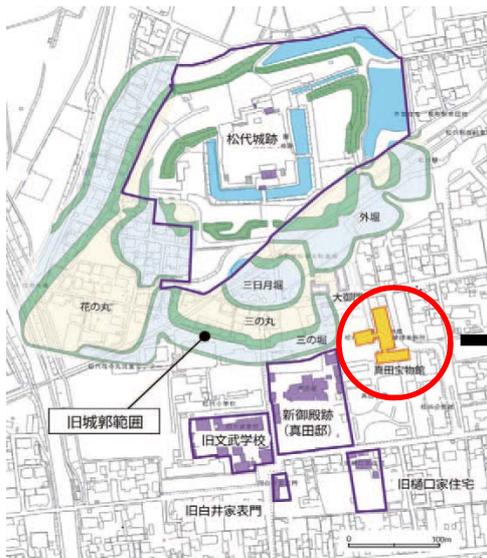
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

真田宝物館の整備は松代地区が作成している「松代地区振興計画」での位置づけや史跡松代城跡の復原整備事業とも深く関連するため、これらの事業との整合性を図りながら、方向性を検討していく。

状況を示す写真や資料等

真田宝物館と関連文化財の位置関係



現在の真田宝物館 (S36年建設)
 施設の老朽化、展示施設機能の不備、収蔵庫不足等の課題を抱えている。

評価軸③-20

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
旧松代駅舎保存活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成28年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 大正11年(1922)建築の旧長野電鉄屋代線松代駅の駅舎を、来訪者に対する案内拠点として活用するため、内部改修と外観修景を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松代城跡の整備に係る庁内検討及び地元との協議を2回(6/29、11/9)実施し、地域の歴史的建造物の一つである駅舎の活用が図られた。
 なお、平成27年度から28年度にかけて、地元で臨時観光案内所として使用するため、平成27年12月に駅舎の改修を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

旧駅舎の保存を含む、具体的な活用方針が決まっていない。旧駅舎は、史跡松代城跡に隣接しているため、今後の松代城跡の復元整備計画や観光振興策などの整合を図りながら、全体の中での活用を検討していく必要があるため、事業期間を32年度まで延長する方針

状況を示す写真や資料等

旧松代駅舎改修等の状況



改修後の内部の様子



臨時観光案内所としての活用状況



改修工事の様子



長野市民新聞 H27.12.19 記事



長野市民新聞 H28.2.18 記事

評価軸③-21

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
松代城跡東側駐車場整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間 平成25年度～平成28年度			
支援事業名 市単独事業			
計画に記載している内容	松代中心市街地への自動車の流入を防ぐため、旧長野電鉄屋代線の敷地のうち、史跡松代城跡東側の一部にアクセス駐車場を整備する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
中心市街地への自動車流入を一定量抑えるため、暫定的に観光用駐車場として活用した。また、イベント会場としての利用を継続した。 ○平成27年度実績 ・4月～5月：善光寺御開帳のシャトルバス発着場及び松代の案内・物販等のおもてなしのためのブースを設置 ・10月10日・11日：松代藩真田十万石まつりの臨時駐車場、イベント会場として使用 ・11月23日・24日：食の合戦 in 長野のイベント会場及び臨時駐車場として使用 ・その他の期間は、観光用駐車場として使用			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	史跡松代城跡に隣接しているため、今後の松代城跡の復元整備計画との整合を図りながら、アクセス駐車場の整備範囲、整備時期について検討を行う必要があるため、事業期間を32年度まで延長する方針		
状況を示す写真や資料等			



平成27年度のイベントにおける利用状況
(H27.11.23 食の合戦in信州松代)

評価軸③-22 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
北国街道松代道周辺文化財等周遊道路整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成29年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	北国街道松代道周辺の文化財や歴史的建造物等をゆったりと周遊できる道を整備するため、平成24年(2012)3月に廃線となった旧長野電鉄屋代線の線路敷を活用し、沿線に点在する歴史的遺産を巡る自転車道ないし遊歩道としての整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
旧金井山駅付近の自転車道・遊歩道の建設工事を実施するとともに、その他の計画路線に関する管理方法及び道路構造に係る地元協議や公安協議等を実施し、北国街道松代道周辺の回遊性向上を図った。 ○平成27年度実績 ・境界立会い L=約1.3km ・詳細設計 L=約1.3km ・自転車道・遊歩道建設工事 L=約0.2km(自転車道・遊歩道部分 幅員5m(表層アスファルト舗装のみ未施工)、両側ウッドチップ帯 幅員1～3m) ・管理方法及び道路構造に係る地元協議4回(7/23、7/31、9/8、10/29)及び公安協議1回(8/4)の実施 ※自転車道・遊歩道整備総延長(計画期間累計) 実施済み0m/計画延長9,800m(進捗率0%)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	道路構造及び管理に関する地元協議に時間を要したことに加え、協議により決定した仕様では、工事単価が当初案より増額となる。平成28年度以降は、継続的、計画的に予算を確保の上、工事の進捗を図る。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 30%; height: 150px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">写真</div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 20px;">➡</div> <div style="border: 1px solid black; width: 30%; height: 150px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">写真</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> 工事前 工事後 </div>			

評価軸③-23

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
史跡大室古墳群保存整備事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 平成10年(1998)から平成25年(2013)にかけて実施しているエントランスゾーン・施設整備ゾーンに引き続き、積石塚古墳・合掌形石室が密集して分布する遺構復原ゾーン(面積:約42,000㎡、古墳数60基)の古墳を修理して保存・継承するとともに、古墳周辺の自然環境を保全し、また、園路や説明板等の便益設備を整えて見学者の利便性を高めるなど、学校教育や生涯学習の場として活用できるように整備を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

古墳3基(154・167・176号墳)の遺構確認調査、古墳2基(167・173号墳)の埋葬施設実測調査、整備作業道予定地内の試掘調査を実施し、大室古墳群の文化財としての価値の向上を図った。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 平成28年度は古墳遺構確認調査を継続し、また、整備作業道の実施設計を行う。平成26～28年度の3か年にわたる遺構確認調査の成果を取りまとめ、今後の追加調査及び実施設計を見据えた各古墳の整備方針を検討する段階に達している。

状況を示す写真や資料等



整備作業道予定地試掘調査 作業実施状況



整備作業道予定地試掘調査 試掘坑調査状況



古墳遺構確認調査 作業実施状況
(167号墳)



古墳遺構確認調査 発掘調査状況
(154号墳)

評価軸③-24 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
旧信濃川田駅保存活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成25年度～平成27年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	川田宿には、地域の歴史や文化を伝えるための施設が不足しているとともに、大通りから離れたところに歴史的まちなみが形成されているため、歴史的まちなみへの案内が不足している。本事業は、川田における歴史的建造物の一つである大正11年(1922)建築の旧長野電鉄屋代線川田駅の駅舎を、川田宿の歴史を伝える資料館及び来訪者に対する案内拠点として利活用するため、内部改修と外観修景を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
地域の歴史的建造物の一つである駅舎の活用を図るため、活用方法に関する配置計画の素案を作成したが、活用方法の決定には至っていない。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	北国街道松代道周辺文化財等周遊道路と合わせて駅舎を利活用するため、北国街道松代道周辺文化財等周遊道路整備事業との整合を図りながら、地元との協議を行い、素案の見直しを進めていくが、活用方法の決定に不測の期間を要していることから、事業期間を平成32年度まで延長する方針		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; width: 50%; margin: 0 auto; height: 200px;"></div> <p>配置計画の素案</p>			

評価軸③-25

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
松代歴史文化の発信・誘客事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成22年度～平成27年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 松代の歴史文化を発信し誘客に繋げるために「NPO 法人 夢空間松代のまちと心を育てる会」が実施している、まち歩き推進事業、交流ネットワーク事業、広報・出版・情報発信事業、まち歩きセンター運営事業に対して助成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松代地区全体を歴史的遺産と見立て、地域資源の掘り起こし、磨き上げ、情報発信を行っている「NPO法人 夢空間松代のまちと心を育てる会」の活動補助を行った。
散策ツールの製作、まち歩きガイドの養成、まち歩きセンター運営、まちづくりシンポジウムの開催等のまち歩き観光の推進とPRに寄与した。

○平成27年度実績【散策会等の実施状況】

松代学講座(全6回) 第6回(H28.1.30開催)までの延べ参加者数 900名
真田家ゆかりの地を巡るサイクリングイベント(H27.12.6実施) 参加者数10名(定員15名) 他

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

今後も引き続き松代地区の歴史文化を発信し誘客に繋げる活動を行うNPO法人を支援するため、事業期間を平成34年度まで延長する方針

状況を示す写真や資料等



まち歩きセンター外観



松代市場の開催

散策会・講座の開催



長野市民新聞 H27.12.1記事



講座リーフレット



視察研修の受入

評価軸③-26

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
県宝大英寺本堂保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成30年度

支援事業名 県補助金、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)

計画に記載している内容 松代の歴史的風致を形成する県宝大英寺本堂および表門について、歴史的風致形成建造物に指定し、保存修理工事に要する経費の一部について補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧松代城下町における歴史的景観の保全を図るため、平成26年度に引き続き、所有者が行う県宝大英寺本堂(大蓮院霊屋)および表門の修理費用の一部を助成した。
 ○平成27年度実績
 本堂の基礎工事が完了
 覆屋を設置し本堂内の木工事の一部を開始

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



大英寺本堂



大英寺本堂

評価軸③-27
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
川田宿PR活用事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 川田宿の歴史的町並みや伝統文化を川田宿を訪れる観光客に対して広くPRするため、川田宿ガイドの会が主体となり、案内ガイドの実施や町歩きガイドマップの作成を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域に指定されたことを受けて設立された「川田宿ガイドの会」会員を中心に、川田宿見学者への案内ガイド等を実施し、街道宿場としての歴史を活かしたまちづくり及びPRに取り組んだ。
 ○平成27年度実績
 ガイド用ガイドブックの作成、新たな資料の収集
 ・案内ガイドの実施 3回(6/16、8/4、8/19) 見学者89人に対応
 ・月例学習会(月第2火曜日)並びにガイド講習会(5/16)及び現地研修会(11/11)の開催

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



案内ガイドの様子① 長野上水内教育会東部支会 (H27.8.4:参加者34名)



案内ガイドの様子② 上田市上野が丘公民館 (H27.8.19:参加者15名)



月例学習会 (H27.7.14)



ガイド講習会 (H27.5.16)

評価軸③-28

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度
	現在の状況	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～平成31年度

支援事業名 国宝重要文化財等保存整備費補助金

計画に記載している内容 史跡松代城跡について、松代地区の中核拠点として利活用を図るため、史跡の追加指定・公有地化を進め、保存整備を実施するもの

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成27年10月7日付けで、文部科学省より約1.7haの史跡追加指定が告示され、史跡指定範囲は約8.2haとなった。城郭としての本来の形状に近づけ、松代城跡の南側に位置する新御殿跡及び旧文武学校との一体性を図るため、追加指定範囲の公有地化に向けた調査等を実施した。
 また、周辺環境整備実施に向けて関係機関協議を2回(7/15、12/22)実施したが、整備方針決定に不測の時間を要した。
 ○平成27年度実績
 追加指定範囲の公有地化に向けた用地測量、補償費調査、境界立会い、不動産鑑定を実施

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 史跡保存整備に伴う、既存市道の付替え等史跡周辺環境の整備方針について、関係機関との協議に不測の時間を要したことから、平成32年度まで事業期間を延長する方針

状況を示す写真や資料等

指定等の対象地域の範囲を示す地形図



松代城跡 境界立会

評価軸③-29

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	
県宝長国寺開山堂保存修理事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成27年度～平成29年度

支援事業名 県補助金、市補助金

計画に記載している内容 松代の歴史的風致を形成する県宝長国寺開山堂について、保存修理工事に要する経費の一部について補助を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

旧松代城下町における歴史的景観の保全を図るため、重要文化財真田信之の霊屋、史跡松代藩主真田家墓所とともに真田家霊屋・墓所区域を構成する、長国寺開山堂(第三代松代藩主真田幸道の霊屋)の屋根修理費の一部を助成した。
 ○平成27年度実績:実施設計が完了、雨漏り等の応急処置を実施

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

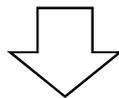
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

長国寺開山堂屋根の雨漏り等の応急処置の状況



応急処置前



応急処置後

評価軸③-30 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
県宝林正寺本堂保存修理事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～平成30年度		
支援事業名	県補助金、市補助金		
計画に記載している内容	松代の歴史的風致を形成する県宝林正寺本堂および表門について、保存修理工事に要する経費の一部について補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
旧松代城下町における歴史的景観の保全を図るため、真田家ゆかりの霊屋・墓所区域を構成する、林正寺本堂(第二代松代藩主真田信政の霊屋)及び表門の修理費の一部を助成した。 ○平成27年度実績:実施設計が完了、本堂の仮設工事を実施			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
林正寺本堂仮設工事の状況  仮設工事施工前  <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 300px; height: 150px; text-align: center; vertical-align: middle;">写真</div> <div style="border: 1px solid black; width: 300px; height: 150px; text-align: center; vertical-align: middle;">写真</div> </div> 仮設工事施工後			

評価軸③-31

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
「彫工北村喜代松」制作の屋台等保存・公開活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 市有形文化財(工芸品)である「彫工北村喜代松」制作の神楽・屋台を保存するとともに、その木地を生かした「一木彫り」による透かし彫りの龍や唐獅子、牡丹など優れた技術の情報発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財データベースや博物館ホームページ等で神楽・屋台についての解説等を常時行い、見所や歴史についての情報を発信した。
 H27年5月3日の鬼無里神社祭礼においても、例年通り屋台巡行が行われ、彫工北村喜代松制作屋台の情報発信及び活用が図られた。
 (公財)ながの観光コンベンションビューローの企画によるバスツアー「旬旅ながの 乾燥野菜作り体験と鬼無里神社春祭りを学ぶ」の参加者も屋台巡行に参加し、祭りを盛り上げた。

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



鬼無里神社屋台巡行の様子①



鬼無里神社屋台巡行の様子②



鬼無里神社屋台巡行の様子③



「旬旅ながの 乾燥野菜作り体験と鬼無里神社春祭りを学ぶ」のツアーバス

評価軸③-32

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
鬼無里地域の伝統的祭礼等PR事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成25年度～平成34年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 白髯神社の祭礼、鬼無里神社の祭礼、諏訪神社の御柱祭をはじめとした、鬼無里地域に伝わる伝統的な祭礼について、パンフレット作成やインターネットを活用した情報発信を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○体験参加型ツアーの実施
 平成25年度から実施している地域の伝統的祭礼や文化財を活用した体験参加型ツアーが今年度も企画・実施され、好評を博した。
 5月3日・・・鬼無里神社(乾燥野菜作り体験と鬼無里神社春祭りを学ぶ)
 7月2日、4日、6日・・・白髯神社(白髯神社本殿特別拝観とホテル鑑賞・古民家を巡る旅)
 9月19～21日・・・白髯神社・松巖寺(箱膳料理とふるさとの原風景を訪ねる旅(白髯神社・松巖寺参拝))

○PR誌の刊行
 「いいとき観光推進協議会」がPR誌『いいとき いいところ』を発行。
 白髯神社本殿、鬼無里ふるさと資料館と屋台、松巖寺(本堂)が掲載され、鬼無里地区の歴史的風致の魅力発信につながった。

○報告書「鬼無里神社と屋台の巡行」発行・配布
 鬼無里地区歴史風致維持向上協議会が平成26年度末に発行した鬼無里神社の祭礼に関する調査報告書を地区内の氏子等に配布。祭礼を支える地域住民に対し、改めて地域の歴史的風致の魅力や価値をPRした。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

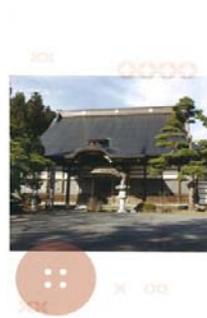
状況を示す写真や資料等



『ながの市 てくてくまち歩きガイド』(ながの「四季の彩り」キャンペーン実行委員会発行)より 一部抜粋



長野市民新聞 H27.5.19記事



『いいとき いいところ』(いいとき観光推進協議会発行)より 一部抜粋

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	

文化財の保存(文化財調査・指定、保存管理(活用)計画等)について	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
----------------------------------	---

計画に記載している内容 文化財は指定・未指定に関わらず、長野市の歴史と文化を理解する上で不可欠なものであり、幅広く情報を収集し、地域固有の財産として未来に受け継いでいくための取り組みを進める必要がある。具体的には、文化財の調査を行い、価値が認められたものについては、市の指定・国の登録制度等の活用を検討する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松代地区では国史跡松代城跡附新御殿跡において追加指定された。また同地区の歴史的建造物について、2箇所6件の建造物が登録有形文化財に登録された。また、庭園群についてこれまでの調査結果をまとめた講演会を行った(9/11)。戸隠地区の宿坊や民家について、未指定の建造物・庭園等の調査を実施し、歴史的町並みを把握することができた。(評価軸③-12参照)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	市内に数多く残る歴史的価値を有する建造物等の文化財について、適切な保全を推進するため、今後も新規の指定・登録等を積極的に進める。
-------------------------------	--

状況を示す写真や資料等

国史跡の松代城跡附新御殿跡
南東部の追加を答申

国の文科相に 市は整備計画策定

松代城は古田領内に存続し、追加指定は、1981(昭和56)年の最初の国史跡指定以来初めて、長野県(明治5)年の「電報代線の敷設で線路跡地が300年余り 跡地にならぬ」とある。整備が「丸出し」や「丸出しを覆うように」取り出された。三日月堀、二は半年度内に用地取得を進め、具体的な整備計画の策定に入ると、これらは市民の約半年間で三日月堀や二の丸土塁、東側入り口の石垣門などの復元を目標し、植栽や自然車の調路なども整備する意向だ。

今回の追加指定で、史跡面積は、約2倍に拡大するが、市では、復元される城跡全体の復元費の約半に、市が負担する。市は、松代城跡の正しさを伝える努力をさらに進めている。

長野市民新聞 H27.6.20 記事

回覧 松代の泉水・泉水路についての調査報告会

松代は、江戸時代からの水通である泉水・泉水路が今日まで保全されてきた全国的にもきわめてまれな地域として注目されてきました。昭和48年に制定された長野市伝統環境保全条例によって行政と住民とが一体となって伝統環境保全地区(表柴町、馬場町、代官町、竹山町)の伝統環境の保全を図られてきました。しかしながら、水量の減少や水質の悪化、生活環境の変化などによって、今後も伝統環境を保全していくのが急務的な状況になってきています。そこで長野市文化財課の依頼を受けて調査を行った信州大学農学部教授の佐々木邦博先生をお招きして「松代の泉水・泉水路の調査報告」をお聞きし、現状を知った上で今後の保全対策を考えます。

日時 9月11日(金)午後1時30分から
講師 佐々木 邦博 先生
信州大学農学部教授(畜産学研究室)

内容 「松代の泉水・泉水路の調査報告」
「泉水・泉水路の保全に向けて、考えよう!」

会場 長野市松代支所 2階 大会議室

★参加無料です。どなたでも参加できます。当日会場へお越しください。

主催 松代地区住居自治協議会 TEL026-278-1885
後援 長野市教育委員会

松代地区庭園講演会のリーフレット

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度
	平成27年度 現在の状況
文化財の保存整備(修理、修景、復元等)について	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 国指定等文化財の現状変更を伴う大規模な修理や整備等を実施する場合には、文化財保護法及び関係法令を遵守し、適切な手続きをとるとともに、文化庁や長野県教育委員会との連携のもと、整備委員会を設置して、専門の有識者より指導助言を得ながら実施する。県・市指定文化財については、地方文化財保護審議会の専門委員より適宜指導助言を得ながら修理等を実施する。長野市の歴史的風致を形成する歴史的風致形成建造物に指定するものについては、保存・活用のための修理に必要な支援を行っていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

指定文化財の建造物・記念物等について計画的に保存修理を実施することにより、適切な保存活用を図ることができた。

- 指定文化財の保存修理事業 6件
 (国指定:旧文武学校保存整備、大室古墳群保存整備、善光寺経蔵保存修理工事)
 (県指定:大英寺保存修理工事、林正寺保存修理工事、長国寺開山堂修理工事)
- 指定文化財の耐震診断事業 1件
 (国指定:旧横田家住宅耐震診断)

歴史的風致の形成に寄与する建造物1件を「歴史的風致形成建造物」に指定した。
 「久山館(石垣)」……戸隠地区

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



史跡旧文武学校保存整備委員会での審議(H27.9.18)



長野市歴史的風致維持向上協議会による「風致形成建造物指定候補物件」の現地視察 (H27.11.10)
 指定物件:久山館(石垣)【戸隠】

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	平成27年度 現在の状況
文化財の防災に関する取り組みについて		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

定期的に文化財防火パトロールを実施し、所有者・管理者と消防局による防火点検や、地元消防団の放水訓練などを行い、日常的に防災意識の高揚と火災被害の軽減を図る。さらに、防犯対策として、文化財所有者への防犯意識の徹底を図る。
 文化財の耐震診断と耐震補強工事や、消火設備、避雷針設備等の防災設備設置工事等の推進を図るとともに、日常的な維持管理や所有者への注意喚起等により、美術品等の防犯対策を図る。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

文化財パトロールの実施
 ・国・県指定文化財：年2回(パトロール員3名)
 ・市指定文化財：年1回(パトロール員29名)
 善光寺・松代城跡(1月26日)などの文化財施設において「文化財防火デー」を中心とした防火放水、避難訓練が実施された。併せて文化財愛護に関する普及啓発も実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

文化財パトロールの様子



(県指定 桑根井空塚)



(県指定 ダニエルノルマン邸)

文化財防火デー 訓練の様子



H28.1.26 松代城跡



H28.1.26 善光寺

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	平成27年度
項目		現在の状況	
文化財の周辺環境の整備について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	歴史的風致の維持及び向上を図るために実施する電線類地中化・道路美装化事業ないし水路等の整備事業、文化財の管理活用を目的とする便益施設等の設置においても文化財及びその周辺の歴史的景観との調和を図る。 〈善光寺戸隠地区〉 ・道路や河川などの公共施設については、電線類地中化や道路の美装化によって、歴史的建造物と一体となった良好な整備を行っていく。 〈松代・若穂川田地区〉 ・電線類地中化や道路の美装化等を順次進めていく。 〈鬼無里地区〉 ・神社や寺院、民家等には古い建造物が多く残され、これまでに大規模開発も行われていないため、文化財の周辺環境も保全されているが、なお一層の地域住民の保全意識向上を図り、環境の保全に努める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
善光寺周辺地区の電線類地中化と道路美装化(評価軸③-3、③-4参照)及び松代地区の道路美装化(評価軸③-15参照)を実施し、文化財及びその周辺の歴史的景観との調和が図られた。 鬼無里地区内の文化財や古民家等を巡るツアー(評価軸③-32参照)を開催し、歴史的景観に関する住民意識の向上が図られた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			

評価軸④-5

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	平成27年度
項目	現在の状況	

文化財の保存及び活用の普及、啓発について

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容
文化財の非公開部分を対象とする期間限定の特別公開や、修理工事中の現地説明会、出前講座等を実施し、分かりやすい文化財情報の発信に努める。市内の各種団体も、住民と連携して文化財めぐりや講演会等を行っており、今後もこうした取り組みを続けていく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

善光寺地区では8月6日に重文善光寺経蔵の保存修理工事の現場公開が行なわれた。松代地区では9月11日に、庭園に関する講演会を開催し、地域に残る歴史的財産の魅力や継承の意義を伝えた。「NPO法人夢空間松代のまちと心を育てる会」などの各種団体主催によるまち歩き・見学会、勉強会などが開催された。(評価軸③-25参照)
鬼無里地区では、鬼無里神社祭礼時に屋台巡行が行われ、それに合わせて(公財)ながの観光コンベンションビューロー主催の屋台曳き手と乾燥野菜作りを体験するバスツアーが実施された。(評価軸③-31、③-32参照)その他にも、国重文の白髭神社本殿特別拝観等を組み込んだバスツアーも催行された。(評価軸③-32参照)

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



H27.5.3
鬼無里神社祭礼屋台巡行・乾燥野菜作り体験ツアー

「揚屋」で輪蔵下部も 善光寺国重文 初の修復

長野市民新聞 H27.8.1 記事

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	
	年月日	掲載紙等
寺町商家がオープンします	平成27年4月1日	広報ながの4月号
長野・東町屋台24年ぶり復活	平成27年4月5日	信濃毎日新聞
松代の商家 集いの場に 市の文化財「寺町商家」改修終え4日から公開	平成27年4月7日	信濃毎日新聞
善光寺御開帳2015 58日間の盛儀 幕開け	平成27年4月7日	長野市民新聞
26日から式年大祭 戸隠神社一帯で1ヵ月間	平成27年4月16日	長野市民新聞
来場者に抹茶提供 松代文化財ボラ 旧白井家表門で	平成27年5月2日	長野市民新聞
祭神載せたみこし、華やかに 長野・戸隠神社式年大祭「渡御の儀」	平成27年5月8日	信濃毎日新聞
戸隠神社式年大祭 善光寺御開帳 ご縁再び「両詣」	平成27年5月9日	信濃毎日新聞
当主 箱膳料理味わう 真田邸でコイのうま煮中心に 松代で体験会	平成27年5月9日	長野市民新聞
御利益求め 見守る人垣 浄土宗の中日庭儀大法要	平成27年5月10日	信濃毎日新聞
炎に祈り 戸隠神社「柱松神事」	平成27年5月11日	信濃毎日新聞
戸隠神社守りつなぐ⑥ 戸隠、未来へ 信仰に基づく街並み (伝建への取組)	平成27年5月16日	週刊長野
伝統の箏「八橋流」響く 長野市松代 原点の旧家で演奏会	平成27年5月19日	信濃毎日新聞
鬼無里神社の報告書 地区の協議会 古文書を解説し発刊 成り立ちや変遷まとめる	平成27年5月19日	長野市民新聞
戸隠神社 ご神体守り600人行列 式年大祭「還御の儀」	平成27年5月25日	信濃毎日新聞
長野市の景観づくり	平成27年6月1日	広報ながの6月号
善光寺御開帳が閉幕 参拝者数4%増 過去最多見通し	平成27年6月2日	長野市民新聞
善光寺木遣り 子供も 中学生以下の部 新設	平成27年6月6日	長野市民新聞
松代城跡 国史跡範囲が拡大 二の丸土塁や外堀の場所 新たに 遺構 22年度までに復元へ	平成27年6月20日	信濃毎日新聞
旧松代駅の活用模索 ワークショップ開く 観光案内所など提案	平成27年6月23日	長野市民新聞
屋台の車輪を新調 権堂町 12日の祇園祭で披露	平成27年7月4日	長野市民新聞
屋台や獅子舞 中心街華やかに ながの祇園祭	平成27年7月14日	信濃毎日新聞
欧州の旅行者ら 長野市戸隠を訪問 海外誘客で観光紹介ツアー	平成27年7月14日	信濃毎日新聞
泉水路保存へ学習会 松代地区住民自治協 今後の対策など協議	平成27年7月28日	長野市民新聞
大河ドラマ「真田丸」放映期間中 松代で催し計画 真田宝物館には名誉館長	平成27年7月28日	信濃毎日新聞
経蔵 6日に一般公開 「揚屋」で輪蔵下部も 善光寺国重文初の修復	平成27年8月1日	長野市民新聞
「戸隠信仰の諸相」出版 新史料・学説踏まえ	平成27年8月18日	信濃毎日新聞
川田宿 江戸時代を感じられる間宿	平成27年8月29日	週刊長野
松代・清須町の真田勘解由家住宅 保存事業 対象物件に 市審議会町並み形成で重要	平成27年9月15日	長野市民新聞
長野で歴史生かしたまちづくりシンポ 「善光寺と真田氏」題材に20日初開催 市協議会	平成27年10月3日	信濃毎日新聞
信之生誕450周年記念して行列 松代で真田十万石まつり	平成27年10月15日	長野市民新聞
講演や討論会で古い町並み考える 風致維持向上協シンポ	平成27年11月3日	長野市民新聞
水源確保が課題の泉水路 市長保身に前向き 松代町で視察	平成27年12月3日	長野市民新聞
戸隠の街並み保存計画案 長野市「重要伝統的建造物群」目指し	平成28年1月9日	信濃毎日新聞

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

善光寺御開帳や戸隠神社式年大祭等に関して広く報道され、これらの祭礼に関する歴史的風致のPRにつながった。他にも、文化財、歴史的建造物、屋台及び泉水路等の保存活用に関する地域の取り組みや、修理の状況等についても報道された。また、歴史的風致維持向上計画を広く市民に周知するために長野市歴史的風致維持向上協議会が主催した「長野市歴史まちづくりシンポジウム」は、事前の報道の効果もあり、多くの参加者で賑わい、長野市歴史的風致維持向上計画等の周知をすることができた。

項目

登録文化財件数の増加

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

登録文化財の件数が平成24年度から平成27年度の4年間で25件増加し、歴史的建造物等の消失の防止に寄与した。
 ○平成27年度実績
 松代地区においては、「松代城下町歴史的建造物・庭園調査事業」(平成26年度事業完了)により、歴史的建造物等に文化財としての価値が見出されたことから、6件が登録有形文化財として登録された。
 ※登録文化財内訳
 ・證蓮寺 本堂、聖徳太子堂、鐘楼、山門 全4棟
 ・布袋屋小林家住宅 主屋、土蔵 全2棟

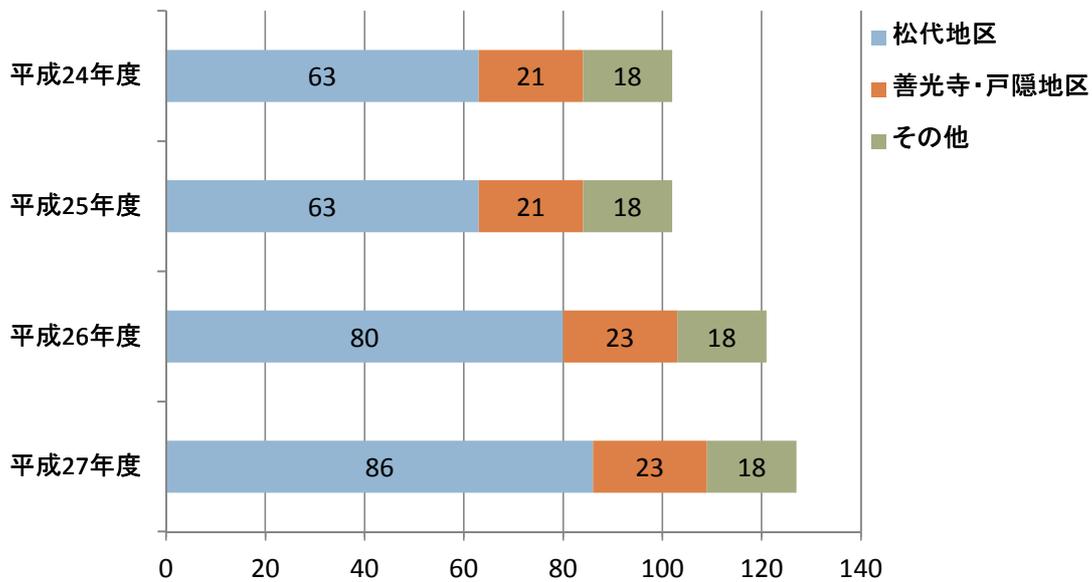
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

登録文化財件数の推移(平成24年度～27年度)



新たに登録有形文化財となった主な建造物



證蓮寺本堂



布袋屋小林家住宅主屋

評価対象年度	平成27年度
--------	--------

項目

「長野市歴史まちづくりシンポジウム ～ながの歴史まちめぐり 善光寺と真田氏～」の開催

計画に記載している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

「長野市歴史的風致維持向上計画」をより多くの市民に周知し、市民との協働により更に歴史まちづくりを推進していくためにシンポジウムを開催した。

事前の報道の効果もあり、参加した多くの市民に対して歴史まちづくりの意義をPRすることができた。

○シンポジウムの概要

【開催日】平成27年10月20日(火)

【内容】(聴覚障害者等への情報保障のため、要約筆記を実施した。)

・長野市歴史的風致維持向上計画の概要説明

・第1部 基調講演「善光寺門前町と松代藩真田氏」講師:宮下 健司氏(元長野県立歴史館総合情報課長)

・第2部 公開討論会「歴史を活かしたまちづくり～地域の取組みについて～」

※「長野市歴史的風致維持向上計画」に位置付けた重点区域の代表者らをパネリストに迎え、各地区の歴史を活かしたまちづくりについての事例発表及び意見交換を行った。

・第3部 絵解き口演「善光寺三鎮守と善光寺参りの絵解き」講師:小林 玲子氏(絵解き口演家/長野郷土史研究会副会長)

○参加者 110名

○報道の状況

・10/3 信濃毎日新聞

・10/17 長野市新聞、週刊長野

・広報ながの10月号

・11/3 長野市市民新聞

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

■計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



シンポジウムリーフレット(表面)



シンポジウムリーフレット(裏面)



週刊長野 H27.10.17記事



シンポジウム(計画概要説明)



シンポジウム(第1部)



シンポジウム(第2部)



シンポジウム(第3部)

法定協議会等におけるコメント

(様式4)

評価対象年度	平成27年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 長野市歴史的風致維持向上協議会(法定協議会)	
会議等の開催日時: 平成28年2月23日(火) 10:00~ 会場: 市役所第一庁舎7階 第一委員会室	
(コメントの概要)	
(今後の対応方針)	